

平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

目 次

P1～P3……	法人の概要
P4～P5……	事業の概要
P6～P10……	湊川短期大学事業報告
P11………	三田松聖高等学校事業報告
P12………	湊川短期大学附属西舞子幼稚園事業報告
P13………	湊川短期大学附属神陵台幼稚園事業報告
P14………	湊川短期大学附属北摂第一幼稚園事業報告
P15………	湊川短期大学附属北摂中央幼稚園事業報告
P16………	湊川短期大学附属北摂学園幼稚園事業報告
P17………	湊川短期大学附属キッズポート保育園事業報告
P18………	湊川短期大学附属ぽるとこども園事業報告
P19………	財務の概要
P20………	平成29年度財務報告
P21～P22…	過去三ヵ年の財務推移表
P23～P25…	平成29年度決算報告グラフ他分析資料

学校法人 湊川相野学園

学校法人湊川相野学園 平成29年度 事業報告書
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

1 法人の概要

1 建学の精神

本学の教育は、校祖幸田たま女史の何事にもくじけぬ不屈の精神と、誠を持って貫き通す強い意志の力とを基本とする。

平和を尊び、高い徳性と健全な心身を備え、新時代に即応できる知性や技術を身につけた、有為な社会人を育成する。

2 学園教育目標

・ 創意創造の精神

日々新たにまた日に新たなりの意欲のもと、科学心を啓培し

・ 誠実不壊の信念

和敬協調、自律自修の信念をもって、挙措清楚に意志凜然と

・ 全人的人格形成

高邁なる英知、豊かな情操を涵養して、心身を錬磨し、清く正しく強い、時代に適応できる有為な社会人を育成したい。

3 設置する短期大学・高等学校・幼稚園・保育園の名称及び所在地

(1) 湊川短期大学

(人間生活学科・専攻科健康教育専攻・幼児教育保育学科・専攻科幼児教育専攻)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(2) 三田松聖高等学校(普通科・特進コース・総合コース)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(3) 湊川短期大学附属西舞子幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒655-0043 兵庫県神戸市垂水区南多聞台5丁目8-1

(4) 湊川短期大学附属神陵台幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒655-0041 兵庫県神戸市垂水区神陵台5丁目8-6

(5) 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成23年4月1日認可

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘4丁目10番

(6) 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(7) 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒669-1337 兵庫県三田市学園7丁目1-3

(8) 湊川短期大学附属キッズポート保育園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(9) 湊川短期大学附属ぼるとこども園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目3番1号2階

4 役員・評議員の概要

【役員】

理 事	理 事 長	浅 井 祐 子	監 事	監 事	下山隆一郎
	常務理事	山野上素充		監 事	木 寅 文 雄
	常任理事	堀 忍			(2名)
	常任理事	末 本 誠			
	常任理事	則 木 豊 丈			
	常任理事	原口富美子			
	理 事	大 前 衛			
	理 事	柳 田 昌 三			
	理 事	小 室 烈 生			
	理 事	高 尾 裕 子			
		(10名)			

【評議員】

評議員	評 議 員	浅 井 祐 子	評 議 員	大 前 衛
	評 議 員	山野上素充	評 議 員	金 澤 敦 夫
	評 議 員	堀 忍	評 議 員	川 崎 宏 紀
	評 議 員	末 本 誠	評 議 員	藤 原 智
	評 議 員	則 木 豊 丈	評 議 員	藤本まり子
	評 議 員	大 前 成 美	評 議 員	稻 山 悟
	評 議 員	濱 田 康 助	評 議 員	喜 多 弘 樹
	評 議 員	大 前 通 代	評 議 員	柳 田 昌 三
	評 議 員	原口富美子	評 議 員	田 仲 正 之
	評 議 員	中 井 重 樹	評 議 員	高 尾 裕 子
	評 議 員	馬 越 美 佳	評 議 員	中 田 初 美
	評 議 員	大 西 則 夫	評 議 員	小 室 烈 生
	評 議 員	藪 本 康 正		

(25名)

5 設置する学科等の名称及び募集定員と学生・生徒・園児、教職員数

(1) 湊川短期大学

(単位：人)

湊川短期大学	募集定員	収容定員	学生数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
人 間 生 活 学 科	80	160	124	14	25	8	3
幼児教育保育学科	100	200	211	13	20	10	5
専攻科健康教育専攻	10	20	10				
専攻科幼児教育専攻	10	20	13				
合 計	200	400	358	27	45	18	8

(2) 三田松聖高等学校

(単位：人)

三田松聖高等学校	募集定員	学則定員	生徒数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
特 進 コ ー ス			73				
総 合 コ ー ス			1110				
合 計	210	270	1183	62	8	7	4

(3) 湊川短期大学附属幼稚園

(単位：人)

	募集定員	認可定員	園児数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
西 舞 子 幼 稚 園	70		197	12	11	0	2
神 陵 台 幼 稚 園	62		147	12	8	0	2
北 摂 第 一 幼 稚 園	110		228	14	14	1	1
北 摂 中 央 幼 稚 園	100		246	13	12	0	1
北 摂 学 園 幼 稚 園	85		140	10	13	0	1
合 計	427		958	61	58	1	7

(4) 湊川短期大学附属保育園

(単位：人)

	募集定員	収容定員	園児数	保育士数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
キッズポート保育園	15	70	79	18	5	2	6
ぽ る と こ ど も 園		19	16	6	4	0	0
合 計	15	89	95	24	9	2	6

※ 学生・生徒・園児・教職員数2017年(平成29年5月1日現在)

2 事業の概要

(1) 平成29年度の主な事業

(法人)

校祖記念館結露対策工事・追加工事	1,175,040	(株)トーホー・コンストラクション
らくらくWi-Fiセット	127,440	(株)大塚商会

(短大)

第一体育館改修工事	780,000	三日月建設(株)
第一体育館舞台背面壁補修	518,400	(株)トーホー・コンストラクション
第一体育館バスケットゴール補強	496,800	(株)トーホー・コンストラクション
図書館1階南玄関風除室扉取替・屋上柵補修	1,242,000	(株)トーホー・コンストラクション
図書館1階カウンセリングルーム改修工事	3,456,000	(株)トーホー・コンストラクション
図書館1階カウンセリングルーム改修工事(追加変更)	1,158,840	(株)トーホー・コンストラクション
図書館室内改修工事	4,320,000	(株)トーホー・コンストラクション
第2期建物解体(旧本館・2号館・1号館ポーチ)	57,547,304	(株)熊谷組関西支店
1号館3階ピアノ練習室用途変更改修工事	10,778,400	(株)熊谷組関西支店
キャンパス整備計画第2期外構工事	304,993,196	(株)熊谷組関西支店
キャンパス整備計画第2期1・2・5号館外壁補修	35,507,700	山陽建材工事(株)
消防設備改修工事1・3・5号館・図書館・第一体育館	450,663	三住管財(株)
学生会館内部階段室北面排煙装置修理	702,000	(株)トーホー・コンストラクション
食堂改修	7,128,000	伊藤喜商事(株)
楠木寮・翠光寮台風被害修繕	4,920,000	山陽建材工事(株)他
学生会館前庭・3号館横歩道工事	18,883,800	(株)合田工務店

(高校)

松聖館テレビ受信設備工事	421,200	三日月建設(株)
松聖館LED工事	588,000	(有)花崎電気工事
本館1階身障者トイレストメイト設置(男女各1)	1,425,600	(有)なべい設備商会
第一体育館改修工事	3,000,000	三日月建設(株)
第一体育館バスケットゴール補強	496,800	(株)トーホー・コンストラクション
電子黒板カーテン工事	940,680	インテリアかとう
電源工事等	668,980	(有)花崎電気工事
教室入口透明硝子交換	896,400	前中硝子店
記念体育館キャットウォーク雨漏修理	518,400	山陽建材工事(株)
台風被害ネット他修理	882,956	三日月建設(株)他
松聖館無線LAN工事	777,600	ミキ通設(株)
本館消化ポンプ取替工事・本館多目的トイレ修理	861,840	(有)なべい設備商会
カードプリンタ	459,000	アイリスチトセ(株)
食堂改修	7,128,000	伊藤喜商事(株)
サッカー場新設土地土壌汚染・履歴調査	7,009,200	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング
サッカー場新設工事(前払分)	74,034,000	前田道路(株)関西支店
三田市四ツ辻西野々1410-6 サッカー場里道土地	348,000	近畿財務局

(西舞子幼稚園)

遮熱テントオアシス	420,000	(株)ジャクエツ
のびのびロッカー8台	671,800	(株)神戸学習社
トランポリン	392,580	カワイ体育教室

(神陵台幼稚園)

保育室LED化取替工事	763,560	藤原電気工事
保育室LED化取替工事	529,200	(株)大塚商会
クッションフロア張替工事	1,890,000	但南建設(株)
園舎歩行通路改修工事	1,033,560	(株)合田工務店
オーニングテント修繕	286,200	(株)合田工務店
オーニングテント張替	559,000	ライフライン
遊戯室放送設備	539,568	藤原電気工事

(北摂第一幼稚園)

分電盤改修・コンセント増設工事・換気扇取り付け	355,000	(有)花崎電気工事
バルコニー漏水補修工事	1,382,400	山陽建材工事(株)
1階職員トイレ改修工事他	3,008,113	(有)なべい設備商会
土留補修工事他整備工事	1,728,000	前田道路(株)関西支店

(北摂中央幼稚園)

外部手洗い場給湯配管工事	918,000	但南建設(株)
セーフティスペース施行工事	3,639,600	(株)ジャクエツ神戸店
職員室エアコン取替	600,000	(有)花崎電気工事
玄関底漏水補修他工事	637,200	山陽建材工事(株)
スチームコンベクションオープン	1,404,000	ホシザキ阪神(株)
ユニットプール3×6型	1,890,000	(株)ジャクエツ神戸店

(北摂学園幼稚園)

遊戯室・職員室他エアコン取替	3,050,000	(有)花崎電気工事
非常放送アンプ更新工事	669,600	(株)きんでん
出入管理・監視カメラシステム	800,200	セコム(株)
ユニットプール3×5型	1,640,000	(株)ジャクエツ神戸店

(キッズポート保育園)

二人乗りブランコ	410,400	(株)ジャクエツ神戸店
----------	---------	-------------

(ぽるとこども園)

やわらかパーティション	121,450	ひかりのくに(株)
-------------	---------	-----------

2017 年度 湊川短期大学事業報告

1. 短大運営

2017 年度の短期大学の運営は学長のリーダーシップの下で、短大運営会議と教授会での議論を基本に進行した。また各学科・専攻および専攻科の運営は、それぞれ運営会議での議論を踏まえて実施された。また常設委員会、専門委員会に分かれて学生指導に当たった。

運営の基本は通常の教学体制の保持に加えて、国の「私立大学等改革総合支援事業」による補助金獲得を目指した諸事項の整備に努めた。その結果タイプ 1 とタイプ 2 の 2 つの補助金を獲得することができた。

今年度の短大運営では、いわゆる「2018 年問題」に対応した短大改組に取り組んだ。その結果、2020 年度からの専攻科(幼児教育専攻)の改変を軸とした改組計画を決定した。これに合わせて、2019 年度入学の人間生活学科生活福祉専攻学生の募集と 2020 年度入学の専攻科(幼児教育専攻)学生の募集を停止することになった。また 2019 年度入試から、学生定員を 150 名に削減することになった。

2. 学科・専攻

2-1. 人間生活学科

人間生活学科は、2 つの専攻と 4 つのコースを有する。各コースとも将来、人の健康に携わったり人のケアを行ったりする点で共通な部分が多くあり、可能な部分で共通の企画や事業を行ってきた。介護保険事務演習においては、学科内で学修環境を整えた。

大学改組に向けて、生活福祉専攻の募集停止と幼児教育保育学科への教育資源移行、福祉関係の専攻科の設置計画、さらに人間健康専攻の中での特別支援教育関係の教育充実への検討を行い具体的に進めた。

養護実習、臨床実習のほか、施設実習など実践的に学ぶ取り組みも充実させた。地域の学校・病院・介護施設等にボランティアへの参加も多くの学生が行った。このような学びの中、多くの学生は、養護教諭、医療事務、介護福祉士の免許資格を活かした進路を見出した。教員免許状更新や介護初任者講習の開設では、社会的な大学の役割を果たすことにもなった。

2-1-1 人間健康専攻

専攻としては定員充足率の維持・向上が課題であった。広報ツールの作成や OC の強化策を講じた結果、2018 年度は 41 名(充足率 103%、前年比+1 名)の入学者を迎えた。2019 年度は定員増となるため、さらなる努力が必要である。養護教諭コースでは、教員採用試験合格者の輩出が課題であった。特別講座を充実させると共に、本館内に学習室を設けて学習環境の充実を図った。本科から合格者は出なかったが、以上の取り組みは意欲の維持

につながったとみられ、5名が専攻科へ進学し、3名が養護教諭（講師）として勤務することとなった。採用試験合格者の輩出に加えて、講師登録によって学校現場へ出るという意欲を維持させることが引き続き課題だと言える。医療事務・食育健康コースは例年通りの資格試験合格率と就職率を維持した。3コースを有する本専攻の魅力をさらに高めるためには「食・医療・健康」をキーワードとした総合的な教育の実施に向けた工夫が必要である。

2-1-2 生活福祉専攻

募集活動として4～12月の期間中に、4名の教員で32件の進学説明会、模擬授業に参加した。また夏季には資料請求が比較的多い四国や、過去に入学のあった学校を中心に、55件程学校案内に回った。その他中国人や特別支援学校へ、入学に向けて取り組んだが実現には至らなかった。地域向け初任者研修については、催行定員に満たなかったため開催することができなかった。約40日間で150時間のカリキュラム構成に無理があったと考えられる。国家試験合格率は72.2%と平均の70.8%より、やや上回ったが、養成校合格率が88%であったこと、また不合格者の予測がついていたことから、個別対応などの強化が今後の課題となった。

2-2 幼児教育保育学科

2017年度の成果として附属園との連携強化があげられる。湊川相野学園幼児教育・保育研究会を新たに開催し（2018年1月）、附属園、子育て支援センター、短大の教職員が一堂に会する研修会を持つことができた。そして、研究会の開催に向けて、短大教員が附属園の主幹会議に数回参加するなど、日常的な意思疎通を図るようにした。

また、附属園への卒業生の就職増に向けて、受験科目の一部免除を特典とする推薦制度を設けるなどした。6月には、附属園の先生と語る会を実施し、学生に附属園就職に興味を持たせる機会とした。これらの活動の結果、幼稚園10名、キッズポート保育園2名と、近年例を見ない多くの学生を附属園に就職させることができた。

加えて、附属園の行事の際には学生ボランティアを派遣し、行事以外にも日常的に学生がボランティアとして関わるよう働きかけを行った。

その他としては、教員免許更新講習や保育士等キャリアアップ講座の実施により、参加される附属園の教員に対してスキルアップの機会を提供している。

3. 専攻科

3-1. 健康教育専攻

2017年度は、定員充足率と教員採用試験合格率の向上が課題であった。定員充足率については、昨年度の入学者数7名（充足率70%）から3名（同30%）へと大幅に下落した。母数（本科の養護教諭コース学生）が少ない学年であったという面もあるが、次年度に向けて本科からの進学者を増やすべく、カリキュラムと学習環境の充実によって魅力ある専

攻科作りに努める必要がある。教員採用試験については、特別講座の充実と学習室の設置により、学習環境の充実を図った。今年度は 1 名の現役合格者を輩出することができた。継続して合格者を出せるように、受験対策プログラムの強化が必要である。

3-2. 幼児教育専攻

昨年よりインターンシップ科目の創設を行い附属園でのインターンシップを行った。熊本への震災ボランティアでは専攻科生が中核となり活動を行っている。また保育士等キャリアアップ研修では託児担当として活躍した。湊成祭では地域の子どもと保護者に向けて様々なイベントを考案し実行した。

4. 委員会

4-1. 学生支援委員会

学内が全面禁煙となり、各フロアに禁煙の掲示と分煙ポスターの設置を必要箇所に行った。12 月には生活美化委員を招集し、駐車場の吸い殻拾いを実施。飲酒リスクや SNS 利用マナー（2 年生については学園顧問弁護士に依頼し、総合オリエンテーションにて実施。）、交通マナー等をオリエンテーション期間に周知した。前期成績発表時に自死と薬物依存の怖さについて講演を依頼し、実施した。

台風の被害で寮の窓ガラス破損や防水シート剥がれなど被害が生じたが、寮生が協力しながら、短大教員および職員とともに復旧作業に当たった。また寮の防災訓練を従来の 11 月から 7 月に変更をし、参加寮生の増加につなげた。

学友会は 11 月 2 日・3 日の大学祭を中心に、新入生歓迎運動会や七夕まつり、卒業パーティーなど、学生の自主的な参加を促しながら実施した。

入学式後の入寮式は保護者の参加が多くみられ、別日に実施するより効果が見られた。

4-2. 教務委員会

平成 30 年度カリキュラムの編成に際して科目の名称変更、開講時期の調整、教員の担当科目調整を実施した。併せて、平成 28 年度に整理したカリキュラム作成にかかわる実施時期・手順の見直しを行った。

学外実習に関する規程の見直し、追試験・再試験に関する規程の見直し、教科目履修規程の成績評価の判定表記の変更、科目等履修生に関する規程の見直し、公欠の対象範囲の設定を行った。長期履修学生変更、キャリア創造コース履修の手続きを整理した。学生が単位未修得、休学・退学することに至らないように指導するために、欠席が 3 回を超えた学生へハガキによる通知を実施することを決定した。

学生の安全な学内教育活動を保証するために、学外教育活動許可願いの様式変更を行った。平成 29 年度に引き続き、非常勤教員数の削減のために、常勤教員の担当科目を調整した。また、非常勤講師担当科目での履修人数の少ない科目の開講基準を設けた。

4-3. 自己点検・評価委員会

毎年実施している自己点検・評価報告書の作成を行った。原稿は各担当者に割り振りをし、まとめた原稿については、自己点検・評価委員会のメンバーで確認、一部修正をしたのち、2016年度の自己点検・評価報告書としてホームページ上にアップした。

4-4. ハラスメント委員会

新校舎への掲示、学生便覧への掲載を行い、ハラスメント防止の啓発を行った。教員の入れ替わりに伴い、新相談員を配置し、概要と役割のレクチャーを行った。法人における委員会設置に際し、情報や資料の共有と管轄の確認を行った。FDSDとして研修会を予定していたが、次年度に実施することになった。年1回開催を目標にして、意識の向上を図る予定である。

5. 各種センター

5-1. キャリア教育センター

2017年度から本格的なキャリア教育がスタートした。1クラス30人規模で、読む、聞く、話し合う、自分の考えをまとめる、人前で話すなど大学教育の基本となる学び方の実践を行った。従来からの就職に向けた準備教育から、学び方、卒業後も学び続ける姿勢を持つことを強調した。冬休み、春休みには、出身高校を訪問し、キャリア・デザインで学んでいることを報告することを勧めた結果、53人の学生が高校を訪問し、進路指導等で世話になった先生に報告した。昨今の幼児教育・保育業界の採用意欲の高さも追い風になり、学生の就職状況は、好成績を収めることができた。就職率は人間生活学科・人間健康専攻100%、生活福祉専攻100%、幼児教育保育学科98%、全体で98%である。

5-2. 地域連携センター

2017度は開設2年目を迎え、事業の実施及び推進に向けた組織体制の整備や学内調整の手順が整理され、機能の強化が進んだ。本年度から新たに地域連携会議を開催し（年2回開催）、地域の方の意見を踏まえて組織運営を行った。また、ボランティア活動の促進のために、登録ボランティア制度の創設（登録ボランティア学生63名）を行った。

これらの活動を通して、新規事業を含む以下の事業を実施することができた。

【事業例】

- ・福岡県北部豪雨被災地支援（2回）
- ・三田市主催事業へのボランティア学生派遣（三田まつり、三田市家族の日、学生のまち推進事業、サンタ×三田プロジェクト他）
- ・三田市民向けの生涯学習事業（三田市民大学、こうみん未来塾）

5-3. 学生相談センター

学生の健康管理について、学生保健調査票及び健康診断結果を基に学生の健康上の注意点を把握し、各学科専攻教員と情報を共有した。また、学生に「健康調査」を実施し、学生の心身の健康状態を把握し、学生相談利用を呼び掛けた。学生相談は予約 41 名、来談 30 名であった。

入学生へ「学生相談室のご案内」を配布し、学生相談室について案内した。4 月に寮生を対象としてお茶会を実施し、参加は 1 年生 41 名、2 年生 8 名であった。また、学生へ健康管理意識の向上のために、「カラコロ通信」を 5 回発行しホームページに掲載した上で、掲示板や学生相談室内で掲示した。

健康教育講演会として、1 年生を対象に、宝塚健康福祉事務所の保健師による「自殺予防」（学生支援委員会と共同）、産婦人科医師による「いのちってなんだ（性教育）」を実施した。

学生相談室内の改装を行い、相談室の整備とクールダウンスペースの設置を実施し、学生が利用しやすくなるように改善した。

6. その他

6-1. 国際シンポジウムの開催

「若者が人生を語ること」をテーマに、2018 年 2 月 3 日（火）の午前と午後、第 4 回湊川短期大学キャリア教育国際セミナーを短期大学で開催した（三田松聖高等学校の共催）。ゲストスピーカーにフランス、トゥール大学のエルヴェ・ブルトン准教授と関西外国語短期大学部教授の川崎孝生教授を招請した。本学関係者および周辺の高校関係者のほか、弘前大学、山形大学、立命館大学、鳴門教育大学、大分大学からの参加者があるなど、広範囲な研究関心を集約することができた。

平成29年度 学校教育目標
「生徒が生き生き・伸び伸びと活動する学校」

I. 生徒募集状況

① 共学後の志願者・入学者・生徒数の推移

平成27年度入試から実施された公立高校の学区再編(16→5学区)が3年目となり、受験生の動向が気になる場所であった。少子化が影響したかどうかはわからないが、昨年度に比べて志願者だけでなく、入学者もわずかに減少した。この結果をしっかりと受け止めるとともに、教育内容や募集活動を十分に充実させて「魅力ある学校づくり」に取り組みたい。

()は男子数

(毎年5月1日現在)

年度	募集定員	志願者数	入学者数	全生徒数	1年	2年	3年
H27年度	210	2,302(1,265)	409(265)	1,108(722)	410	363	335
H28年度	210	2,447(1,351)	431(294)	1,169(791)	431	397	341
H29年度	210	2,392(1,302)	394(254)	1,184(780)	394	412	378

② 特別進学コースと総合コースの生徒数・クラス数の推移

平成15年から「特別進学コース」と「総合コース」を設置。

(毎年5月1日現在)

年度	特進コース	クラス数	総合コース	クラス数	クラス数計
H27年度	75	3	1,033	25	28
H28年度	79	3	1,090	27	30
H29年度	73	3	1,111	28	31

II. 進路実績と部活動の成果

進路実績や部活動の成果は、教育環境や生徒の生活実態などと共に学校評価に直接大きな影響を与えるものと考えている。教職員全体で堅実に取り組んでいきたい。

<進路実績>

- ・4年制大学: 127名(34.0%)
- ・就 職 : 85名(22.7%)
- ・短期大学 : 39名(10.5%)
- ・進学未定 : 17名(4.6%)
- ・専門学校 : 105名(28.2%)

<部活動の主な結果>

- ・硬式野球部: 春季県大会「ベスト16」、全国選手権県大会「ベスト16」、秋季県大会「ベスト16」
- ・男子バスケットボール部: 県総体「ベスト8」、県選手権大会「ベスト8」、県新人選抜大会「ベスト8」
- ・女子バスケットボール部: 県総体「ベスト32」、県選手権大会「ベスト16」、県新人選抜大会「第4位」
- ・陸上競技部: 男子駅伝県大会「第24位」(2時間19分47秒)
- ・水泳部: 全国総体出場(岡田侑奈・100m平泳ぎ、200m平泳ぎ)
近畿新人選手権大会出場(男子400mフリーリレー、男子400mメドレーリレー)
- ・少林寺拳法部: 近畿大会出場(松隈千夏・女子規定単独演武)
- ・洋弓部: 県新人戦「70m W団体・第3位」/50m W団体・第2位

III. 平成29年度の主な行事

- 4月7日 第67回入学式
- 6月9日,10日 松聖祭(文化の部)
- 6月13日 松聖祭(体育の部)
- 8月2日,22日 学校見学会(中学生見学者:計727名)
- 8月19日,20日 第12回兵庫私立中学・高等学校展(合同説明会)クラウンパレス神戸
- 1月14日～19日 2年生・ハワイへの修学旅行(第13回目)
- 2月10日 平成30年度入学試験(志願者:2,214名)
- 2月23日 第65回卒業式

湊川短期大学附属西舞子幼稚園 平成29年度事業報告

(1) 在籍状況(利用定員200名 認可定員220人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
満3歳児	0	0	2	3	3	7	9	10	12	12	13	14	85
3歳児	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	61	743
4歳児	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	756
5歳児	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	744
計	197	197	199	200	200	204	206	207	209	209	210	210	2448

※認定こども園3年目の運営も、学園や保護者、地域のお力添えで安定。また、地域子育て支援としての本園での活動も年追うごとに盛況で、園特色を理解、支持されての入園希望者も、例年以上多数申し込みを有難く思う。収支上昇に安堵しつつも、今後も利用定員数(1.2.3号の人数)の安定に努める。

(2) 運営・経営状況

・主幹教諭が短大に派遣させて頂き、次席教諭が主幹一年目を奮闘してくれた。新任2名(内1名は非常勤より受験採用)は頂けたが、正規(主幹枠)1名欠員のまま1年を乗り切るのは、正直シフトローテーションがきつく、各職員の負担が多かった。また、非常勤講師は2名が退職、一人が正規となり3名欠員がでる中、未経験の休眠有資格者4名が採用された。勝手のわからない状況下で、例年以上に共通理解に時間を費やした。その成果もあつてか、免許更新など意欲をもって30年度につながってくれることが有難い。

・年度末3月に入り、急遽2年、3年のキャリアの正規教諭が退職し、その上、正規1名が3月中旬より体調を崩し休職中である。ご配慮頂き、平成30年度に採用者2名を配属して頂いたが、結局、昨年同様欠員1名、プラス休職1名で正規教諭2名の欠員現状である。管理職として、もっと早い時点で兆候を察知できなかったかと、責任を感じている。

(3) 怪我・事故

・園児の病院での診断、治療は、外科2、整形外科1、歯科1、口腔外科1だった。健康状態に配慮を要する園児は、今年度も、癲癇、発熱初期の熱性痙攣、重度の食物アレルギーなど多く、ダイナップ、エピペン等の薬剤を園で預かった。現段階で園ができる範疇での配慮を各保護者と話し合いを繰り返し、双方が納得した上で行った。今後も全教諭で一人一人の病状理解し合いながら、初期対応に各教諭が最善を尽くせるよう(緊急時対応シミュレーション、AED研修、エピペン使用方法など)、スキルを高めていく。

(4) 子育て支援事業

- ・ひよこルーム(預かり保育): AM7:00～19:00 長期休暇中も有 1日平均約50人前後 各号により料金設定有
- ・つばみ教室: 月4回程度、登録14組。有料、満2歳以上未就園親子。親子体験遊び中心。園行事在園児交流
- ・すこやかひろば: 月2回程度、満1歳以上未就園親子。随時登録可。地域友達との触れ合いの場とする。
- ・わくわくようちえん: 就学前幼児対象、年間48回、園にて年長児と共に幼児教育体験。本年度該当なし。

(5) 職員研修

- ・新任研修(年14回)・附属5園、短大研修・子育てフォーラム
- ・県、神私幼連盟研究会[グループ研修(2名)、一般研修(2名)、専門研修(2名)、主任研修・10年目研修(1名)、3月教育研修会にてグループ研修紙面報告]・県私幼研究会子育て相談研修(2名)・私立幼稚園研修会・垂水区私立幼、保、小教員研修・幼小連絡会(小学校長、幼稚園、保育園長)

(6) 購入・修繕等

- ・購入 園児用ロッカー(3歳児)、トランポリン
- ・修繕 園舎内空調清掃(メンテナンス)

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク(6月…明石市立中学校1校、10月…神戸市立中学校3校)
- ・実習生、学生ボランティア受け入れ・交通安全教室(垂水警察来園指導)
- ・「みんなまってるよ」就学前事業(5歳児西舞子小へ)・消防署体験訪問(垂水消防署)
- ・プレ親体験交流学習(長坂中3年)・キッズニア甲子園(体験学習)

(8) 広報・社会活動

- ・園児育て支援活動PRボード作成掲示(区保健所担当窓口)・神幼研ホームページ園紹介内容の更新PR向上
- ・幼稚園ホームページの更新向上(各園共通化と各園の特色)と各学年 ブログ更新(1～2週間ごと)
- ・県立舞子高校へ出前授業「幼児教育の大切さ」

(9) 園内研究(委員会)活動

- ・園内研究会(各学期ごと)の実施・子どもの発達に添った内容を軸にした話し合い
- ・年間通しての保育日誌に基づく保育内容指導
- ・園長からの保育参考資料配布・市特別支援教育インクルーシブ教育相談員訪問観察指導(年5回実施)

湊川短期大学附属 神陵台 幼稚園 平成29年度事業報告

(1)在籍状況(認可定員 240名 ・ 利用定員 180名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	1	3	4	6	6	8	8	10	10	11	11	11	89
3歳児	40	40	40	40	40	44	44	44	44	44	44	44	508
4歳児	55	55	55	55	55	55	55	55	56	56	56	56	664
5歳児	49	49	49	49	49	49	49	49	49	48	48	48	585
計	145	147	148	150	150	156	156	158	159	159	159	159	1846

* 昨年度と比較して

・利用定員に対しての入園率は、昨年度が85.2%で、今年度は85.5%で、ほぼ横ばいである。しかし、応募状況では満3歳児学級は増加傾向にある。

(2)運営・経営状況

・新制度の幼稚園型認定こども園となり3年目、2号認定の枠が2月以降にならないと神戸市からの依頼人数がわからず、定員に満たない状況が続いている。満3歳児学級は継続して開設。

(3)怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数(外科 6回)
内訳 (転倒による外傷4名、肘の脱臼1名、足の踵の亀裂骨折1名)

(4)子育て支援事業

・私立幼稚園2歳児子育て応援事業(在宅2歳児対象) は実施、応募者が多く好評であった。
・みんなの幼稚園事業(未就園児対象、月2回程度)も幼児の体験を重視し参加者が多数。
・わくわく幼稚園の開設事業(在宅5歳児)を開設するが本年度も申し込みなし。

(5)職員研修

・新任研修 ・附属園公開保育参観研修 ・神戸市私立幼稚園専門研修 ・10年目研修
・人権教育研修 ・私立幼稚園教員子育て支援研修 ・主任研修

(6)購入・修繕等

・全保育室、職員室の床面クッションシート化 ・全保育室、遊戯室等LED化工事 ・西園舎1、2階通路部改修工事 ・遊戯室放送設備新調

(7)異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィーク 2校 ・プレ親体験 2校 ・神陵台小学校との交流体験活動(プレ小学生)
・幼稚園実習生受け入れ ・ボランティア受け入れ(頌栄短期大学)

(8)広報・社会活動

・神戸市こども家庭局のHP等への情報提供(預かり保育実施園一覧表)
・広報誌(ちやいるどのと・神戸市垂水区版)に情報掲載

(9)園内研究(委員会)活動

・園内での保育研究 5～6月に全員実施。(1人2回実施)
・全学級の園児についての研修会(年間を通して月2回程度で実施)

認定こども園 湊川短期大学附属 北摂第一幼稚園 平29年度事業報告

(1)在籍状況(定員 300名)

	毎月1日												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	9	11	11	12	12	12	12	11	11	11	11	11	134
満3歳児	0	1	3	5	5	10	11	11	12	12	12	12	94
3歳児	61	61	61	60	58	58	58	58	58	59	58	58	708
4歳児	90	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	1091
5歳児	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	768
計	224	228	230	232	230	235	236	235	236	237	236	236	2795

(2)運営・経営状況

- ・園児数、クラス数については昨年度同様である。
- ・職員の退職は非常勤2名、新規採用は3名である。
- ・常勤が担任で副担任の非常勤と9クラス全て2人体制で挑んだ。常勤1名が8月末退職という案件が起きたが、副担任をしていた常勤職員が担任に回り、事なきを得た。
- ・保護者の会三役と学級委員が園運営に大変協力的で、スムーズに運営できた。
- ・1号認定子どもの預かり保育利用児が増加している。

(3)怪我・事故

- ・病院での診断、治療・・・5回(眼科2件、小児科1件、救急2件)救急内1件は癲癇発作、1件は脳しんとうでの受診。

(4)子育て支援事業

- ・すこやか広場(月に2回 園庭開放・職員と遊ぼう・教育相談)
- ・あいあいルーム
親子コース 月2～3回 (延べ利用者数 613名) ・ こどもコース 月3～4回 (延べ利用者数 369名)
本年度も非常に好評で利用者が年々増加し、嬉しい悲鳴をあげている。
先に述べたあいあいルームを経験された方がそのまま幼稚園に入園したいという希望者が多い。
内容的にも充実しているので、希望者が多いのではないかと推察できる。

(5)職員研修

- ・新任研修、特別支援研修、夏季特別講座、三同教(県・市)主催、教員研修大会等様々な研修に参加できた。
- ・特別支援教育では、本園児が通園している施設に担任が出向き、担当職員の方に丁寧に教えていただき、園で実施している。

(6)購入・修繕等

- ・職員トイレの改修工事。

(7)異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク(2校)・北摂三田高校体験保育・有馬高校インターンシップ受け入れ・教育実習受入
- ・人と自然の博物館との交流(5歳児)・武庫小学校との交流
- ・地域行事参加(5歳児有志)・武庫小校区まつり・コーラスの指導講師による七夕コンサートに参加。
(5, 4歳児有志)

(8)広報・社会活動

- ・保、幼、小連携に係るスタンダードカリキュラム(7)園内研究(委員会)活動・卒業生と語る会出席。
- ・三田市と連携し、子育て支援事業の掲載。

湊川短期大学附属北摂中央幼稚園 平成29年度事業報告

(1)在籍状況(定員305名 利用定員290名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年度3月
満3歳児	0	2	3	3	3	4	6	8	9	10	10	10	17
3歳児	78	78	78	78	78	78	77	77	77	77	77	77	65
4歳児	85	84	84	83	82	82	83	83	83	82	83	83	85
5歳児	82	82	82	82	82	82	81	81	81	81	81	81	99
計	245	246	247	246	245	246	247	249	250	250	251	251	266

* 昨年度と比較して

園児数は前年度に比べて1割減少したが、5歳児の卒園児分との差である。満3歳児と3歳児は予定人数入園している。クラス数は前年度と同様である。

(2)運営・経営状況

・職員の退職は常勤2名、非常勤が3名。新規採用は常勤が1名、非常勤が4名であったので、副担任も各クラスに配置できた。創立30周年記念事業の年となり、特別な行事もあったが、全職員及び保護者の協力により盛会に終えることができた。保育運営は比較的安定した一年であった。保護者の会の活動もスムーズに運営されていた。

(3)怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は9回
(外科・整形外科 7件 歯科 1件 眼科 1件)
主な内容は捻挫、挫創、裂創、歯茎出血であった。

(4)子育て支援事業

・本年度も好評であった。子育て支援活動参加に希望者が増加しているため、1グループ月4回だったのを2グループ月2回にして多く受け入れることとした。
色々な企画も用意され、内容的にも充実した取り組みであった。
課題点としては副担当者が副担任を兼ねていたため、準備、片付け後にクラスに入るため、主担当者が忙しく動いていたので、来年度は改善したい。

(5)職員研修

・新任研修、附属7園研修、三同教、県、市主催の研修、子育て支援研修ならびに夏期特別講座など多数参加した。保幼小中連携研修、特別支援研修、教員研修大会などにも大勢の職員が参加できた。

(6)異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィーク2校受入れ、三田西陵、祥雲館高校との交流、すずかけ台小学校との交流を例年通り実施した。地域の大型店舗への絵の掲示、ウッディタウン市民センターでの絵の展示なども実施した。波豆川地区とは田植、稲刈り、芋の苗植え、収穫、しめ縄作りなど多くの交流活動ができた。

(7)広報・社会活動

・すずかけカーニバルへの出展協力、掲示板による園行事、子育てフォーラムや子育て支援の掲載、笑顔ですくすくSUNだっこへの掲載等行った。

(8)園内研究(委員会)活動

・兵庫県、三田市教育委員会、子ども支援課等の教育相談やアドバイスを受け、気になる児童への対応を職員会議等で報告をした。湊川短大との研究会にも参加し、他園との情報交換等も行った。

湊川短期大学附属北摂学園幼稚園 平成29年度事業報告

(1)在籍状況(認可定員145名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	39	39	39	39	39	39	39	38	38	38	37	37	461
4歳児	48	48	48	47	47	47	47	47	46	46	46	46	563
5歳児	53	53	52	52	52	52	53	53	53	53	53	53	632
計	140	140	139	138	138	138	139	138	137	137	136	136	1656

* 昨年度と比較して

・入園率10月以降95%以上。

平成28年度3月138名 平成29年度3月136名

(2)運営・経営状況

今年度も1年を通して順調な園経営ができた。日々の保育での生き活きとした園児の様子、そして、行事ごとに若竹のように伸びゆく子どもたちの姿を観て、保護者はもちろん地域住民からも大きな信頼が得られるようになって来た。それには、日々、子どもの成長を願って研鑽努力する教職員の頑張りや保護者の会及び保護者の皆様の強いご協力があったることと喜んでいる。今後、益々地域に根を張った、信頼される幼稚園となるよう、皆で力を合わせて頑張っていきたい。

(3)怪我・事故

・病院で診断・治療を受けた回数4回(外科2回、小児科2回)

(4)子育て支援事業

・未就園児とその保護者の為の「すこやかひろば」を開設、又園庭開放びを設け親子遊び体験、絵本の読み聞かせ等を行った。
 ・兵庫県私立幼稚園2歳児応援事業
 ・兵庫県わくわくようちえん事業

(5)職員研修

・附属6園合同研修・三同教・阪神同教・運動遊び講習会・特別支援研修・学校園所連携研修・教員研修大会・湊川相野学園保育研究会

(6)購入・修繕等

購入 遊戯室エアコン取り替え 非常放送アンプ 玄関出入管理システム
 修繕 園庭足洗い場改修工事 台風による倒木撤去

(7)異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィーク・三田松聖高校実習農園借用・県立祥雲館高校体験保育・実習生受け入れ・関西学院大学よさこい連炎流との交流・湊川短大・県立有馬高校生体験保育受け入れ・県立三田西陵高校保育体験等を実施した。

(8)広報・社会活動

・こいのぼり防火訓練にて新聞掲載・県立祥雲館高校との交流新聞掲載・園飼育の羊の毛刈り新聞掲載・学園地域まつり職員参加

(9)園内研究(委員会)活動

・保育研究会議・保育室環境整備会議・特別支援に係る会議・安全対策委員会・感染症委員会・アレルギーについての会議

湊川短期大学附属キッズポート保育園 平成29年度事業報告

(1)在籍状況(定員70名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	6	6	7	7	9	9	9	9	10	11	12	13	108
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
2歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
3歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
4歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
5歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
計	79	79	80	80	82	82	82	82	83	84	85	86	984

(2)運営・経営状況

在園児兄弟(0歳児)の育休復帰月が後半(12月～3月)であったため、例年より入所率が低くなってしまったものの、ほぼ例年通りの運営が行えた。

(3)怪我・事故

- ・病院で診断、治療を受けた回数は7回(小児科4件、歯科1件、形成外科1件)いずれの怪我也完治済。
小児科4件はいずれも肘内障。内1件は自然治癒。
(日本スポーツ振興センターに災害給付金申請は5件。)

(3)子育て支援事業

- ・三田市子育てステーション事業を毎月1回実施した。
- ・兵庫県委託事業の乳幼児応援事業は年48回行った。
- ・しょうがい児保育を継続し行った。

(3)職員研修

- ・新任研修、附属6園公開保育、三人考、睦保会研修(三田市内認可保育園所8園合同)、他園見学、体作り講習会、鍵盤ハーモニカ研修、特別支援教育研修講座、教育相談実地研修講座、障害児保育研修、保育造形研究大会、給食施設協議会、保幼小中連携研修、処遇改善2キャリアアップ(マネジメント、保護者対応)、三田市内認可保育園所との保育士部会(学年別)

(4)購入・修繕等

- ・玄関横屋根漏水補修
- ・玄関横屋根漏水補修調理室給食用リフトインバーター取り換え
- ・こども用男子トイレ自動洗浄装置取り換え
- ・保育室棚、及び職員室書庫棚扉金具交換
- ・二人乗りブランコ支柱取り換え

(5)異年齢交流・連携事業活動

- ・とらいやるウィーク2校、篠山鳳鳴高校体験保育、湊川短期大学1回生来園、附属短大生との交流、すずかけ台小学校との交流会、よこやま保育園との年長児交流会、保育士養成校の保育、実習生受け入れ等を実施。

(6)広報・社会活動

- ・三田市内認可保育園所による就職フェア実施。

(7)園内研究(委員会)活動

- ・ひやりハット委員会、幼児保育会議、乳児保育会議
- ・離乳食会議、給食委員、アレルギー児配食会議等を行った。
- ・睦保会会長を1期務めた。

湊川短期大学附属ぽるとこども園 平成29年度事業報告

(1)在籍状況(定員19名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	0	0	0	0	0	0	2	3	3	3	4	4	19
1歳児	8	8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	116
2歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
計	16	16	18	18	18	18	20	21	21	21	22	22	231

(2)運営・経営状況

開園年で様々な基礎固めが必要であったが概ね順調に進んだ。

(3)怪我・事故

- ・病院で診断、治療を受けた回数は3回(小児科2件、歯科1件)いずれの怪我も完治済。
- (日本スポーツ振興センターに災害給付金申請は3件。)

(4)職員研修

- ・新任研修、短期大学・附属園 教育・保育研究会

他園見学、体作り講習会、造形遊び講習会、特別支援教育研修講座

- ・実践研究

「小規模保育における遊びの充実-すみっこ遊びからの検討-」湊川短期大学紀要 第54集(2017)

「乳児期の学びの芽生えを育む小規模保育施設の志向と試み-スウェーデンの小規模保育・乳児保育から示唆を得て」
乳幼児保育学会第27回大会発表(2017)

(5)連携事業活動

- ・附属短大生との交流
- 連携園との交流活動
- 保育士養成校の保育、実習生受け入れ等を実施。

(6)園内研究(委員会)活動

- ・ひやりハット委員会、保育環境会議、危機管理委員会
- ・離乳食会議、アレルギー児対応についての会議等を行った。

3 財務の概要

学校法人 湊川相野学園

◇ 計算書類の読み方 ◇

学校会計の計算書類は、一会計期間における資金の収入及び支出の流れを明らかにする資金収支計算書、一会計期間の経営状態を明らかにした事業活動収支計算書及び、一定時点の財政状況を示した貸借対照表があります。

資金収支計算書は、その年度の教育・研究諸活動に対応する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）のすべてを明らかにしたものです。通常の研究教育に関わる収入・支出とともに、施設の建設や借入金等も含んだ全ての資金を伴う収入・支出が掲載されております。また、平成27年度より、活動区分資金収支計算書の作成が義務付けられました。活動区分は、教育活動・施設整備活動・その他の活動に区分され、学校にどのような収入がありこれをどう使っているか、また、資金繰りの健全性があるかを表しています。

事業活動収支計算では、教育活動収支と教育活動外収支及び特別収支に分かれております。教育活動における収支差額を教育収支差額といい、教育活動外収支までを含めた収支差額を経常収支差額といいます。さらに、特別収支差額も含めた収支差額が基本金組入前当年度収支差額となります。これらは、バランスの均衡状態を明らかにすることと、経営成績を明示することを目的としています。もし、このバランスがとれず支出超過（赤字）ということになれば、健全な財政状態とはいえません。赤字解消に努力しなければ、教育・研究活動に支障をきたすことになりかねません。

貸借対照表は通常の企業会計とは異なり固定性配列法で表示しております。固定性配列法とは、配列を資産・負債の換金性の面からとらえ、換金性が低い、すなわち固定性の高い項目の順に並べる方法です。この配列法は公益事業、鉱山業など固定資産の比重の高い企業の設備資金の分析に有用であるとされています。

基本金組入れは、学校がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持することを要求されていることから、基本金対象資産として定められた資産相当額は、明確に区分し、消費支出に充てるべきでないという学校法人会計の基本的な考え方に基づく会計処理です。

今回の会計基準の改正では、以前のように、帰属収入から基本金組入額を控除して消費収入を算出するのではなく、基本金組入前当年度収支差額がわかりやすい計算方式となっています。

なお、基本金および基本金の対象となる資産は、具体的に次のものをいいます。

① 第1号基本金

施設・設備などの固定資産（図書を含む）の取得額

② 第2号基本金

将来の施設取得等のために収受した寄付金等を、あらかじめ計画的に積み立てる金銭等資産の額

③ 第3号基本金

奨学金等の基金として保持し運用する金銭等資産の額

④ 第4号基本金

恒常的に保持すべき資金（消費支出の1カ月分）

以上のように、基本金には、必ず対応する資産がありますが、基本金自体は何らの資産ではありません。基本金は、学校が継続して維持すべき資産を概念的に金額で表した規模ということになります。

平成29年度

財務報告

●資金収支計算書●事業活動収支計算書●貸借対照表
●活動区分資金収支計算書

学校法人 湊川相野学園

資金収支計算書
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	1,494,059	1,507,800	△ 13,741	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	1,139,917	1,110,677	29,240
教 育 研 究 経 費 支 出	447,504	453,186	△ 5,682	手 数 料 収 入	42,062	42,376	△ 314
管 理 経 費 支 出	305,306	288,278	17,028	寄 付 金 収 入	4,829	10,019	△ 5,190
借入金等利息支出	1,891	1,891	0	補 助 金 収 入	1,114,749	1,115,203	△ 454
借入金等返済支出	8,390	8,390	0	資 産 運 用 収 入	37,674	40,558	△ 2,883
施設関係支出	397,172	416,056	△ 18,884	資 産 売 却 収 入	673,049	673,049	0
設備関係支出	19,894	20,214	△ 320	事 業 収 入	106,519	107,011	△ 492
資産運用支出	990,865	990,984	△ 118	雑 収 入	43,848	44,786	△ 938
その他の支出	362,232	411,481	△ 49,249	借 入 金 等 収 入	0	0	0
予 備 費	0	0	0	前 受 金 収 入	197,406	219,957	△ 22,551
資金支出調整勘定	△ 18,068	△ 94,200	76,133	そ の 他 の 収 入	908,414	954,090	△ 45,676
次年度繰越支払資金	1,493,792	1,526,825	△ 33,032	資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 275,838	△ 297,230	21,392
				前年度繰越支払資金	1,510,409	1,510,409	0
支出の部合計	5,503,038	5,530,905	△ 27,867	収入の部合計	5,503,038	5,530,905	△ 27,867

事業活動収支計算書
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	1,494,059	1,499,273	△ 5,214	学 生 生 徒 等 納 付 金	1,139,917	1,110,677	29,240
教 育 研 究 経 費	607,714	626,392	△ 18,678	手 数 料	42,062	42,376	△ 314
管 理 経 費	325,353	306,437	18,915	寄 付 金	4,829	10,019	△ 5,190
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	補 助 金	1,114,749	1,114,041	708
				事 業 収 入	106,519	107,011	△ 492
				雑 収 入	43,848	44,786	△ 938
教育活動収支差額	24,798	△ 3,194	27,991				
借入金等利息	1,891	1,891	0	受取利息・配当金	37,674	40,558	△ 2,883
その他の教育活動外収	0	0	0	その他の教育活動外収	0	0	0
教育活動外収支差額	35,783	38,666	△ 2,883				
資産処分差額	0	648	△ 648	資 産 処 分 差 額	0	2,753	△ 2,753
その他の特別支出	0	0	0	その他の特別収入	0	6,599	△ 6,599
特別収支差額	0	8,703	△ 8,703				
支出の部合計	2,489,598	2,478,818	10,779	収 入 の 部 合 計	2,489,598	2,469,467	20,131
予 備 費	0	0	0				
基本金組入前等年度収支差額	60,581	44,176	16,405				
基本金組入額合計	△ 425,956	△ 479,420	53,464				
当年度収支差額	△ 365,375	△ 435,245	69,869				
前年度繰越消費収入超過額	527,784	527,784	0				
基本金取崩額	0	0	0				
翌年度繰越消費収入超過額	162,409	92,540	69,869				

貸借対照表
平成30年3月31日

(単位 千円)

資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	8,542,392	8,170,569	371,823
(1) 有形固定資産	5,906,832	5,654,476	252,356
(2) その他の固定資産	2,635,560	2,516,093	119,467
流 動 資 産	1,580,680	2,011,934	△ 431,254
合 計	10,123,072	10,182,503	△ 59,431

負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	525,179	542,036	△ 16,857
流 動 負 債	330,546	417,296	△ 86,750

第 1 号 基 本 金	9,001,808	8,522,388	479,420
第 4 号 基 本 金	173,000	173,000	0

消 費 収 支 差 額	92,540	527,784	△ 435,245
-------------	--------	---------	-----------

合 計	10,123,072	10,182,503	△ 59,431
-----	------------	------------	----------

活動区分資金収支計算書
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位 千円)

教育活動による資金収支	
項目	金額
教育活動資金収入計	2,428,909
教育活動資金支出計	2,249,265
差引	179,644
調整勘定等	△ 73,533
教育活動資金収支差額	106,111
施設整備等活動による資金収支	
項目	金額
施設整備等活動資金収入計	201,162
施設整備等活動資金支出計	446,270
差引	△ 245,108
調整勘定等	447,271
施設整備等活動資金収支差額	202,163
その他活動による資金収支	
項目	金額
その他活動資金収入計	974,859
その他活動資金支出計	1,265,753
差引	△ 290,893
調整勘定等	△ 966
施設整備等活動資金収支差額	△ 291,859
支払資金の増減額	16,415
前年度繰越支払資金	1,510,409
翌年度繰越支払資金	1,526,825

過去三カ年の財務の推移表

単位 千円

資金収支計算書	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	短大327名 高校1,108名 幼稚園955名 保育所80名			短大343名 高校1,169名 幼稚園933名 保育所79名			短大358名 高校1,183名 幼稚園958名 保育所95名		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金収入	1,035,211	20.0%		1,089,217	17.8%		1,110,677	20.1%	
手数料収入	46,779	0.9%		45,848	0.8%		42,376	0.8%	
寄付金収入	11,176	0.2%		17,737	0.3%		10,019	0.2%	
補助金収入	938,151	18.1%		1,485,307	24.3%		1,115,203	20.2%	
資産運用収入	50,076	1.0%		42,855	0.7%		40,558	0.7%	
資産売却収入	599,800	11.6%		1,154,630	18.9%		673,049	12.2%	
事業収入	81,088	1.6%		88,802	1.5%		107,011	1.9%	
雑収入	77,628	1.5%		60,245	1.0%		44,786	0.8%	
借入金等収入	0	0.0%		200,000	3.3%		0	0.0%	
前受金収入	257,707	5.0%		250,674	4.1%		219,957	4.0%	
その他の収入	565,003	10.9%		717,643	11.8%		954,090	17.3%	
資金収入調整勘定	△295,449	-5.7%		△750,545	-12.3%		△297,230	-5.4%	
前年度繰越支払資金	1,812,880	35.0%		1,702,870	27.9%		1,510,409	27.3%	
資金収入合計	5,180,051	100.0%		6,105,283	100.0%		5,530,905	100.0%	
人件費	1,293,502	25.0%		1,356,758	22.2%		1,507,800	27.3%	
教育研究経費支出	478,123	9.2%		383,912	6.3%		453,186	8.2%	
管理経費支出	352,328	6.8%		279,019	4.6%		288,278	5.2%	
借入金等利息支出	750	0.0%		750	0.0%		1,891	0.0%	
借入金等返済支出	0	0.0%		0	0.0%		8,390	0.2%	
施設関係支出	272,758	5.3%		1,322,032	21.7%		416,056	7.5%	
設備関係支出	26,359	0.5%		76,725	1.3%		20,214	0.4%	
資産運用支出	779,361	15.0%		917,978	15.0%		990,984	17.9%	
その他の支出	424,025	8.2%		394,625	6.5%		411,481	7.4%	
資金支出調整勘定	△150,025	-2.9%		△136,923	-2.2%		△94,200	-1.7%	
次年度繰越支払資金	1,702,870	32.9%		1,510,409	24.7%		1,526,825	27.6%	
資金支出合計	5,180,051	100.0%		6,105,283	100.0%		5,530,905	100.0%	

過去三年の財務の推移表②

単位 千円

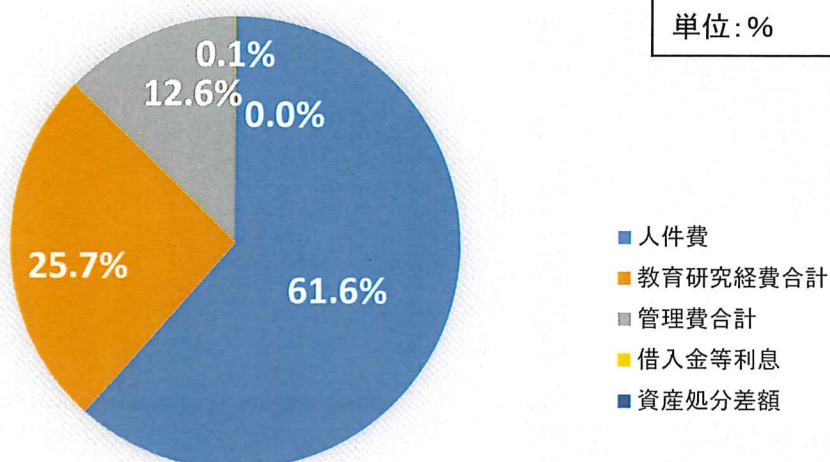
事業活動収支計算書	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	短大327名 高校1,108名 幼稚園955名 保育所80名			短大343名 高校1,169名 幼稚園933名 保育所79名			短大358名 高校1,183名 幼稚園958名 保育所95名		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金	1,035,211	47.2%		1,089,217	46.5%		1,110,677	45.7%	
手数料	46,779	2.1%		45,848	2.0%		42,376	1.7%	
寄付金	14,152	0.6%		5,570	0.2%		10,019	0.4%	
補助金	938,866	42.8%		1,050,582	44.9%		1,114,041	45.9%	
事業収入	81,088	3.7%		88,802	3.8%		107,011	4.4%	
雑収入	77,628	3.5%		60,245	2.6%		44,786	1.8%	
教育活動収入計	2,193,726	100.0%		2,340,265	100.0%		2,428,909	100.0%	
人件費	1,291,635	58.9%		1,355,790	57.9%		1,499,273	61.7%	
(教育研究経費支出)	425,031	19.4%		339,545	14.5%		382,550	15.7%	
(奨学費支出)	53,091	2.4%		44,366	1.9%		72,079	3.0%	
(減価償却額)	139,887	6.4%		142,088	6.1%		171,763	7.1%	
教育研究経費 合計	618,010	28.2%		525,999	22.5%		626,392	25.8%	
(管理経費支出)	352,328	16.1%		279,019	11.9%		288,278	11.9%	
(減価償却額)	18,678	0.9%		14,862	0.6%		18,159	0.7%	
管理経費 合計	371,006	16.9%		293,881	12.6%		306,437	12.6%	
徴収不能引当金繰入額	0	0.0%		31	0.0%		0	0.0%	
教育活動支出計	2,280,652	104.0%		2,175,701	93.0%		2,432,103	100.1%	
教育活動収支差額	△86,926	-4.0%		164,563	7.0%		△3,194	-0.1%	
受取利息・配当金	50,076	2.3%		42,855	1.8%		40,558	1.7%	
その他の教育活動外収入	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動外収入計	50,076	2.3%		42,855	1.8%		40,558	1.7%	
借入金等利息	750	0.0%		750	0.0%		1,891	0.1%	
その他の教育活動外支出	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動外支出計	750	0.0%		750	0.0%		1,891	0.1%	
教育活動外収支差額	49,326	2.2%		42,105	1.8%		38,666	1.6%	
経常収支差額	△37,600	-1.7%		206,668	8.8%		35,473	1.5%	
資産売却差額	0	0.0%		166	0.0%		2,753	0.1%	
その他の特別収入	0	0.0%		449,688	19.2%		6,599	0.3%	
特別収入計	0	0.0%		449,854	19.2%		9,352	0.4%	
資産処分差額	97,679	4.5%		153,107	6.5%		648	0.0%	
その他の特別支出	715	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
特別支出計	98,394	4.5%		153,107	6.5%		648	0.0%	
特別収支差額	△98,394	-4.5%		296,746	12.7%		8,703	0.4%	
基本金組入前当年度収支差額	△135,994	-6.2%		503,414	21.5%		44,176	1.8%	
基本金組入額合計	△93,664	-4.3%		△583,282	-24.9%		△479,420	-19.7%	
当年度収支差額	△229,658	-10.5%		△79,868	-3.4%		△435,245	-17.9%	
前年度繰越収支差額	504,001			514,176			527,784		
基本金取崩額	239,833			93,476			0		
翌年度繰越収支差額	514,176			527,784			92,540		

※各比率は教育活動収入に対する比率。

平成29年度決算報告グラフ他分析資料

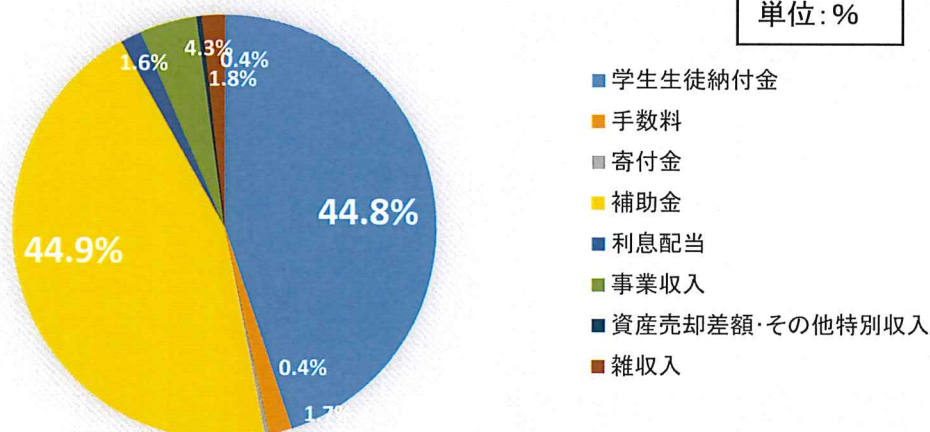
平成29年度 事業活動支出構成比率

単位：％



平成29年度 事業活動収入の構成比

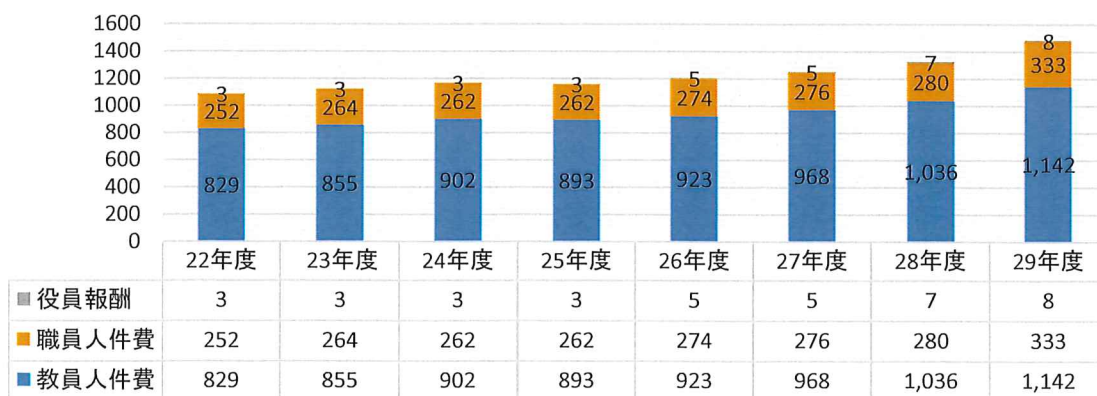
単位：％

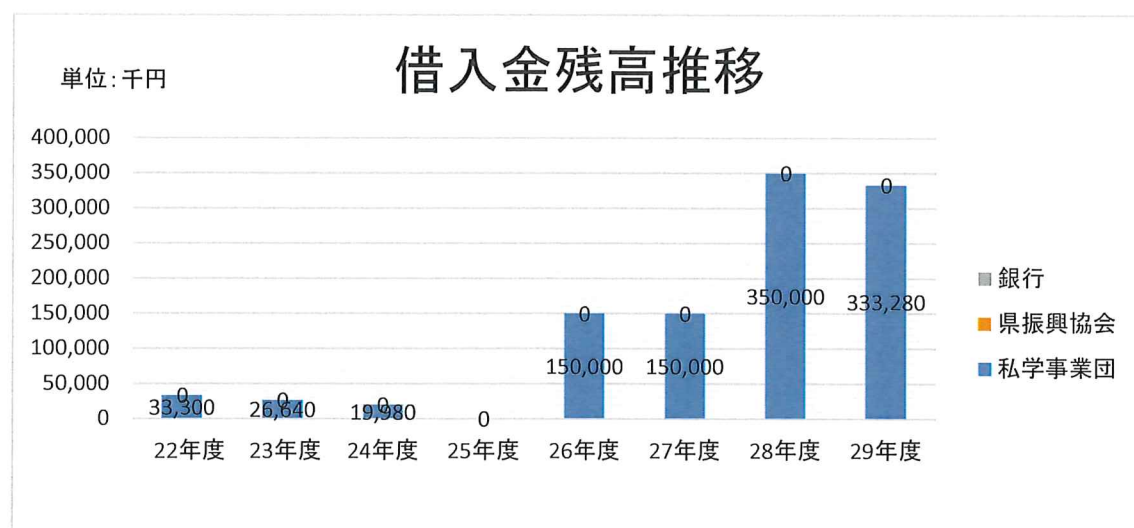
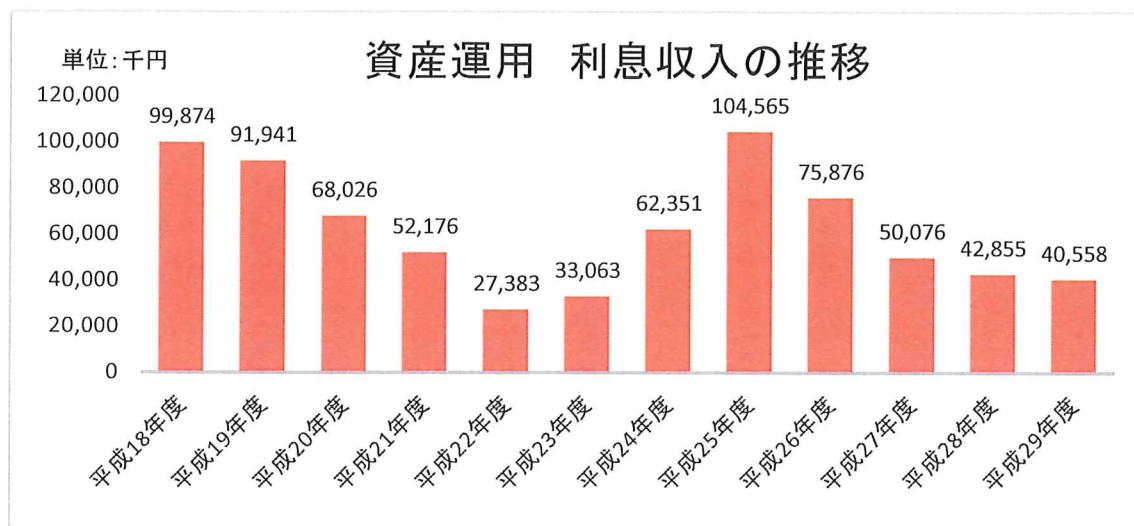


人件費(消費支出)の推移

単位：百万円

■教員人件費 ■職員人件費 ■役員報酬

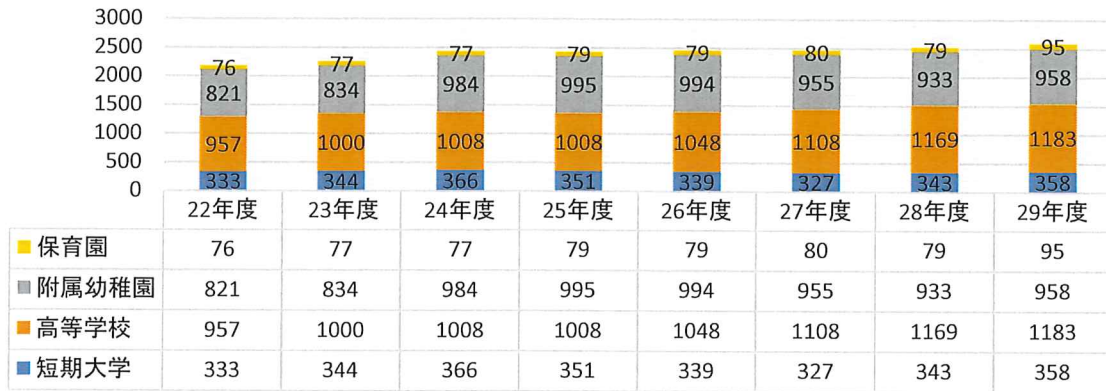




学生数の推移

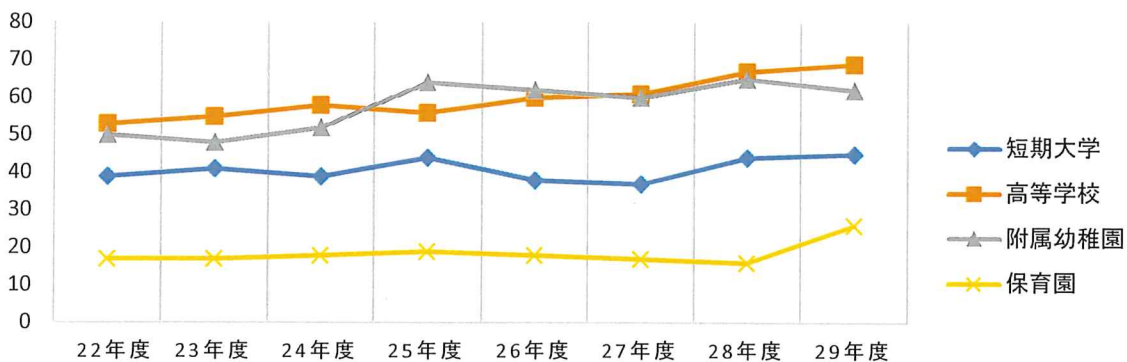
単位:人

■ 短期大学 ■ 高等学校 ■ 附属幼稚園 ■ 保育園



教職員の推移

単位:人



◆◆主要財務諸表の比較表◆◆

単位: %

比率	算式(×100)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人件費比率	人件費÷帰属収入	56.9	51.4	48.1	60.4
人件費依存率	人件費÷学生生徒等納付金	114.0	117.9	124.5	134.9
教育研究経費支出率	教育研究費÷帰属収入	20.8	19.4	18.6	25.3
管理経費支出率	管理経費÷帰属収入	10.1	9.9	10.4	12.3
消費支出比率	消費支出÷帰属収入	88.1	87.0	82.2	98.2

※平成27年度より帰属収入に代わり事業活動収入
 ※平成27年度より消費支出に代わり事業活動支出

平成30年5月21日

監 査 報 告 書

学校法人 湊川相野学園
理事長 浅井 祐子 殿

学校法人 湊川相野学園

監 事 下 山 隆 一 郎

監 事 木 寅 文 雄

私たちは、学校法人湊川相野学園の監事として、私立学校法第37条3項に基づいて同学園の平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）における計算書類（資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表）及び学園の業務執行状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは学校法人湊川相野学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、事業報告書、財産目録及び計算書類は会計諸帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人湊川相野学園の業務又は財産に関し不正の行為又は法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。